

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム ガーベラの園		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 令和8年 2月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29世帯	(回答者数) 23世帯
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 令和8年 2月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柔軟な時間対応	共働きのご家庭でも安心して預けていただけるよう、時間に融通を利かせている	
2	動ける医療ケア時の受け入れ	看護師が常駐しているため、受け入れが可能	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルーム ガーベラの園

公表日 2026年2月26日

利用児童  
数 年月日

回収数 23世帯

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2		2	①禁止のゲームをしても気づかなかつた ②様子を聞く限り、いつもそばにいてくれる。	①再発が無いように注意してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思	17	4		1	階段がふわふわで柔らかい	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか	16	5	1		①もう少し清潔を保ってほしい ②おもちゃや紙も沢山ある	①掃除等徹底し、注意してまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支	18	3	1		本人がとても楽しく過ごしている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	18	2		1	本人がとても楽しく過ごしている。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に	21		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの	21		1		本人が楽しむことで、家族も安心して預けることができている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	21	1			学習に力をいれている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	20	2			工夫されていると思う。	
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する	1	7	5	9	望んでない。		
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	20	1			説明がありました。		
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ	20	2			説明がありました。		
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング	8	7	3	4			
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況	20		1		お迎え時に今日の様子を伝えてくれる		
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1	1				

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21		1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	2	6	5	9	希望しない	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	21		1		入所前からお世話になっている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	18	2	1		お迎え時に今日の様子を伝えてくれている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	17	2		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	2		3		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ	12	3	1	5		
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	9	2		11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等	16	2		4		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や	14	2		6		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1	1	1	「今日ガーベラ？」と毎日聞いてくる	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	2		「今日ガーベラ？」と毎日聞いてくる	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21		1		「今日ガーベラ？」と毎日聞いてくる	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	発達支援ルーム ガーベラの園				公表日	令和8年 1月 29日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		大きな建物へ引越した		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		マンツーマンが1対2で対応している		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所内は、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。		○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、生活空間は、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。	○				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	○		処置室をクールタイムできる部屋にしている		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。		○			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	○		HP等で好評を行い、月1回の会議で内容について話し合いをしている		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回の会議で意見等を月1回の会議で話し合いをしている		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		評価等はないが、専任の弁護士はいる	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等での研修を行っているか。	○		最低月1回以上は研修等を行っている		
その他	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	○				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理士等の意見を踏まえているか。	○				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットで記録しているか。	○				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	○		申し送りや連絡ノートで共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	○		申し送りや連絡ノートで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決	○				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所		○	関わる機会がない	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	関わる機会がない		

保護者への説明等	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○	開催時間が送迎時間と重なる	参加するよう努力する	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やメールなどでやり取りをしている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	○	相談された際説明はしている		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		最終的に親のOKをもらってから反映している		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		最終的に親のOKをもらってから反映している		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同		○			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		周知しつつ、適切に対応している		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ	○		Instagramを定期的に発信している		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	○		各委員会を作り研修会を行っている 訓練等も年2回以上行っている	
		47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え	○		策定し、訓練は3月に行っている	
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認	○		体験や見学時に疾患や服薬等の状況を確認している。	
		49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応	○		体験や見学時に疾患や服薬等の状況を確認している。	
		50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	○		策定し、訓練は3月に行っている	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	○			職員会議等で報告等している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	○			研修を行っている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	○			記載している